

オバマ大統領、ヒトの脳機能の解析研究「脳行動マップ」プロジェクトの予算を次年度以降の予算案に組み込む意向 (2月17日)

2月12日に行われた一般教書演説の中でも取り上げられた、ヒトの脳機能の解析研究「脳行動マップ (Brain Activity Map)」プロジェクトのための予算が、3月に大統領が提出する予算案に組み込まれる見込みである。

アルツハイマー病やパーキンソン病の解明に不可欠な技術開発だけでなく、統合失調症や自閉症の治療及び人工知能の進歩にも繋がると、研究者の間で期待が高まる同プロジェクトであるが、総予算は年間3億ドル以上、10年間で最低30億ドルが必要であるとみられ、1990年から2003年に実施された「ヒトゲノムプロジェクト (Human Genome Project)」の総額38億ドルを大きく上回ると予測されている。

なお、「脳行動マップ」プロジェクトは、科学技術政策局 (Office of Science and Technology Policy : OSTP) 主導の下、国立衛生研究所 (National Institutes of Health : NIH)、国防高等研究計画局 (Defense Advanced Research Projects Agency : DARPA)、米国科学財団 (National Science Foundation : NSF) などの連邦省庁及び、ハワード・ヒューズ医療研究所 (Howard Hughes Medical Institute、メリーランド州チェビーチェイス) やアレン脳科学研究所 (Allen Brain Science Foundation、ワシントン州シアトル) などの民間財団の参加が見込まれている。

The New York Times, Obama Seeking to Boost Study of Human Brain

<http://www.nytimes.com/2013/02/18/science/project-seeks-to-build-map-of-human-brain.html>